

2013年8月31日

2013 空襲・戦災記録する連絡会議第 43 回北海道大会報告

千葉県空襲と戦争を語る会 伊藤章夫

2013年8月23日、空路で函館に着く。23日―24日米軍資料研究会と25日―26日日本大会に参加しました。2冊本を買いました。二つの会で発表し、コメントを貰いました。神戸空襲の女性活動家4人に会いました。その後、個人的に札幌、小樽、夕張を歩き28日に戻りました。私は2010年第40回東京大会、2011年第41回大牟田大会、2012年第42回名古屋大会に参加しています。名古屋大会は関さんも参加しました。会場は函館市の函館山麓の函館公民館であった。この公民館は昭和8年建造の洋風建物で、館長は女性であった。

詳細はファイル内資料をご覧ください。

昨年から大会を千葉県（千葉市）で開催できないかと非公式に打診されています。私は力不足と会が二つあるので協議が必要だと返事してきました。今年は神戸になりましたが、その次は千葉に回りそうです。これからその条件について相談します。

米軍資料研究会

国会図書館、アメリカ関係機関等に公開されている米軍の資料に基づいて日本側の被害の実態と合わせて研究する会である。初日4件、二日目4件である。私は、二日目に蘇我の爆弾攻撃に投下された爆弾数の推定、学校工場目標の検証、機銃弾の破片について報告した。この報告について参加者から助言を得た。中山伊佐男さんは、千葉に関する資料を提供します、檜崎茂弥さんは国会図書館 hp→戦略爆撃機報告書と当たれば探せると具体的であった。約60人で大会参加者の約半数。ユニークな発表があった。

本大会

記念講演の後、参加者の発表があった。初日115人参加。北海道で開催できたのは山本竜也さんという若い研究者が実行委員会を組織して活動しているからだと思う。彼は北海道の空襲犠牲者を調べて、データベースにしている。

発表は、北海道8件、東北3件、関東3件（千葉の発表を含む）、中部1件、関西2件、中国2件であった。北海道はテニアン島から遠く、東京、大阪、名古屋空襲と時期が同じではない。硫黄島が占領されてから北海道における爆撃による空襲は1945年7月14日、15日である。この他に室蘭への艦砲射撃と艦載機攻撃があった。

次年度は会場が神戸に決まったので、中田さんが挨拶した。神戸帰りの際は岡山市立資料館を見学する価値はあります。

懇親会

全国の代表と交流できた。

フィールドワーク

函館護国神社：ここに農業青年を北海道に集めて食糧増産を図った事業の碑があった。戦争時代の国策を反省していない。

青函連絡船殉難者碑：国鉄職員の犠牲者は刻名されているが乗客のことは示されていない。国鉄がJRになった時、慰霊祭の主催者になることをJRが拒否した。